

事前に各学級からの意見を
コパイロットでまとめ
たものです！

低学年からの意見

学校全体の課題・困っていること

- 人間関係・言葉遣い
 - 休み時間に外でいやなことをされる
 - あばれる人がいる
 - ちくちく言葉（相手を傷つける言葉）を使う人がいる
 - マナー・行動面
 - 廊下を走る人が多い
 - ゴミがたくさん落ちている
-

学級の課題・困っていること

- 態度・言動
 - いやなことをする人がいる
 - 話を聞けない人がいる
 - 自分勝手・わがままな行動
 - 授業中にザワザワしている
 - 先生が話している時に話す人がいる
 - ルール・習慣
 - 忘れ物が多い
 - チャイムを守らない
 - 水遊びをする
-

すでに取り組んでいること

- 「やめて」と自分で言う
 - 姿勢を良くする（足をそろえる）
 - ふわふわ言葉（やさしい言葉）を使う
 - チャイムで○人以上座っていたらビー玉貯金（行動改善の工夫）
-

中学年からの意見

学校全体の課題・困っていること

- ゴミ問題
 - ポイ捨てが多い（校長先生が朝にゴミ拾い）
 - 運動場や校内にゴミが多い
 - 給食の残菜が捨てられている
 - ごみ捨てのマナーが悪い
- マナー・行動面
 - 廊下や中庭を走る人がいる（上履きで走るなど）
 - 靴箱でボールを投げる
 - ボールの使い方が適切でない
 - 身だしなみが整っていない
 - 「今何をすべきか」を考えて行動できていない
- 人間関係・言葉遣い
 - 言葉遣いが悪い（言い争いやいじめ）
 - けんか・暴言・いじめが多い

学級の課題・困っていること

- 授業態度・時間管理
 - チャイムを守らない
 - 授業中に関係ない話をする・ふざける
 - 忘れ物が多い
 - やるべきことができていない
- 整理整頓・掃除
 - 教室がきたない
 - 整理整頓ができていない
 - 掃除が不十分（無言掃除、きれいに使う意識）
- 態度・ルール
 - 名札の管理ができていない
 - 人によって態度が違う
 - 話を聞く姿勢が不十分（相手を見ない）

すでに取り組んでいること

- 朝と帰りに日直が呼びかけ
- 名札入れに名札を入れる
- 朝のあいさつ時に身だしなみを整える
- 教室の整理整頓の時間を設ける
- 宿題提出の声かけ

高学年からの意見

学校全体の課題（共通して挙げられているもの）

- 廊下で走る・ふざける
 - 身だしなみの乱れ（髪染め・ピアス・キーホルダーなど）
 - 校則違反（ルールを守らない）
 - いじめ・差別・暴言
 - ポイ捨て・掃除の不徹底
 - 忘れ物が多い
 - 話し方・言葉遣いの乱れ
 - 授業中の集中力不足・関係ないことをする
-

学級ごとの課題

- 宿題の未提出
 - 無言掃除ができない
 - 授業中の私語・席を離れる・トイレに行く
 - 給食のマナー・残すこと
 - 整理整頓・机の乱れ
 - 時間を守れない（授業・給食・帰りの準備）
 - 考動力（自分で考えて行動する力）の不足
-

すでに取り組んでいること

- 提出物チェックボードや名札入れの導入
- 健康観察時の持ち物チェック（ハンカチ・ティッシュ）
- 掃除・あいさつでポイントシールを配布
- 月の目標（無言掃除・整理整頓）を設定
- 環境委員会による掃除チェック
- 忘れ物に対するプリント提出ルール
- 人権宣言の作成（クラス版・個人版）
- 宿題提出でポイントを貯めて「お楽しみ会」実施

麻生田小の児童たちが挙げた課題の中で、低学年・中学年・高学年に共通していた話題は以下の通りです：

学校全体に関する共通の課題

1. 廊下で走る・ふざける

- すべての学年で指摘されており、安全面やマナーの問題として認識されています。

2. 言葉遣い・人間関係のトラブル

- ちくちく言葉（低学年）、暴言・いじめ（中高学年）など、言葉による傷つけや対人関係の問題が共通しています。

3. ゴミ・掃除の問題

- ゴミのポイ捨て（中高学年）、掃除の不徹底（高学年）、ゴミが落ちている（低学年）など、環境美化に関する課題が共通しています。

4. 忘れ物が多い

- 全学年で繰り返し挙げられており、生活習慣や準備の面での課題です。
-

学級内に関する共通の課題

1. 授業中の態度・集中力不足

- 話を聞かない、私語、関係ない話をするなど、授業への集中が課題となっています。

2. 整理整頓・掃除

- 教室が汚い、机の乱れ、掃除が不十分など、学習環境の整備に関する課題が共通しています。

3. ルールや時間を守れない

- チャイムを守らない、時間管理ができないなど、生活ルールの定着が課題です。
-

これらの共通課題は、学校全体での取り組みテーマとして設定することで、学年を超えた協力や意識向上につながる可能性があります。

必要であれば、これらをもとに児童会議の議題案や学年合同プロジェクトの提案書も作成できます。ご希望ありますか？